

岡山市の平成24年度決算の特徴

(普通会計の決算)

(健全化判断比率&資金不足比率)

平成25年8月28日

岡山市財政局財政課

目 次

岡山市の平成24年度決算の特徴

- 1 岡山市の平成24年度決算から見る財政状況のポイント 1～2
- 2 健全化判断比率と資金不足比率の概要 3～4
- 3 岡山市の平成24年度普通会計決算の概要 5～6
- 4 岡山市の平成24年度決算額（普通会計）. 7～12
 - （1） 歳入決算の概要
 - （2） 歳出決算の概要
 - （3） 決算収支の状況

【岡山市の平成24年度決算の特徴の表記について】

岡山市の平成24年度決算の特徴は、原則として次の基準で表記しています。

- （1）地方財政状況調査（決算統計）による普通会計
- （2）「地方公共団体の健全化に関する法律」による会計区分に基づく健全化判断比率と資金不足比率

1 岡山市の平成24年度決算から見る財政状況のポイント

(1) 主な財政指標等

(単位：億円、%)

区 分	平成24年度	平成23年度	増 減
経常収支比率	88.2	87.4	+ 0.8
実質公債費比率(3ヵ年平均)	13.5	14.8	1.3
将来負担比率	64.0	87.8	23.8
財源調整のための基金残高	(201) 274	(160) 196	(+ 41) + 78
普通会計の市債残高	2,760	2,776	16
岡山市全体の借金残高	6,368	6,415	47

() は公共施設等整備基金を除いた額

(2) 主な財政指標等の要因分析

【経常収支比率】

- ・ 人件費や公債費など経常的に支出される経費に充当される一般財源が、市税などの経常的に収入される一般財源に占める割合です。一般的に80%を超えると財政の弾力性が失われつつあるといわれています。
- ・ 経常的に支出される経費に充当された一般財源は、生活保護費や障害者自立支援関係経費などの扶助費、介護保険事業や後期高齢者医療事業への繰出金が増加したものの、職員数の減や市債の借入抑制により人件費及び公債費が減少したことにより、前年度に比べ微増となりました。

扶助費	H23 : 227億円	H24 : 233億円 (+ 6億円)
繰出金	H23 : 141億円	H24 : 146億円 (+ 5億円)
人件費	H23 : 399億円	H24 : 392億円 (- 7億円)
公債費	H23 : 368億円	H24 : 365億円 (- 3億円)

- ・ 一方、経常的に収入される一般財源は、年少扶養控除廃止などにより市民税が増加しているものの、評価替えによる固定資産税の減などにより、約14億円減少したため、経常収支比率は前年度比で0.8ポイント悪化しました。

固定資産税	H23 : 451億円	H24 : 428億円 (- 23億円)
市民税	H23 : 466億円	H24 : 481億円 (+ 15億円)

【実質公債費比率（3カ年平均）】

- ・市債の発行抑制や土地改良事業の元利償還助成の減などにより一般会計等の元利償還金及び公債費に準ずる債務負担行為に係るものなどが減少したため、前年度比で1.3ポイント改善しました。

【将来負担比率】

- ・平成23年度と比較して、市債（通常分）の発行抑制による一般会計等の地方債残高の減少、財政調整基金など基金残高の増加及び下水道事業が地方公営企業法の財務適用したことに伴う算定方法の変更などにより、一般会計等の負担見込額が減少したことから、前年度比で23.8ポイント改善しました。

通常分とは、元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた実質的な借金のこと

【財源調整のための基金残高】

- ・財政調整基金へ決算剰余金を41億円、防災・減災事業などに対応するため公共施設等整備基金へ37億円を積み立てたことなどにより、基金残高は前年度比で78億円の増となりました。

財政調整基金	H23：146億円	H24：187億円（+41億円）
市債調整基金	H23：14億円	H24：14億円（±0億円）
公共施設等整備基金	H23：36億円	H24：73億円（+37億円）

財源調整のための基金は、財政調整基金、市債調整基金、公共施設等整備基金の3基金

市債調整基金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため積み立てた額を除く

【市債残高】

- ・翌年度以降の支出が決定している債務負担行為額や水道事業・下水道事業などの企業会計の市債を含めた市全体の借金残高は6,368億円で、前年度比47億円の減となりました。
- ・通常分の市債借入額を抑制してきた結果、普通会計ベースでの市債残高は、前年度比で16億円の減となりました。

普通会計	借入額311億円	<	元金償還額327億円
通常分	借入額116億円	<	元金償還額232億円

満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた12億円は、元金償還に含む

（単位：億円）

区 分	平成24年度	平成23年度	増減額
市全体の借金残高	6,368	6,415	47
普通会計	2,760	2,776	16
（うち通常分）	(1,758)	(1,874)	(116)
企業会計	2,777	2,809	32
債務負担行為	831	830	+1

2 健全化判断比率と資金不足比率の概要

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は、各自治体が財政の健全性に関する比率（「健全化判断比率」及び「公営企業の資金不足比率」）を公表し、各指標が基準を超えた場合には、財政の早期健全化や再生並びに公営企業の経営の健全化を図ることを目的としています。

この法律は平成20年4月から一部施行され、本市も平成19年度決算から比率等を公表しています。平成21年4月から法律全体が施行され、健全化判断比率等が早期健全化基準などを超えた場合、財政健全化計画等を策定することになります。

なお、本市の平成24年度決算に基づく健全化判断比率等はすべて基準をクリアしています。

【平成24年度決算に基づく岡山市の健全化判断比率と資金不足比率】

指 標	説 明	岡山市の比率		早期健全化 基準	財政再生 基準	
		平成24年度	平成23年度			
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率	—	—	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字額（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率	—	—	16.25%	30%
	実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率	13.5	14.8	25%	35%
	将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	64.0	87.8	400%	
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率	—	—	(経営健全化基準) 20%		

(注) 実質赤字額、資金不足額がない場合は、「-」を記載

【用語の説明】

一般会計等	一般会計に住宅新築資金等貸付事業費特別会計や合併特例区など9会計を加えたもので、普通会計の会計区分とは異なります。
早期健全化基準	自治体の自主的な改善努力による財政健全化を図るため、 から のうち、1つでも基準以上となった場合、財政健全化計画を作成し議会の議決を経て、総務大臣に報告。
財政再生基準	国の関与による確実な再生を図るため、 から のうち、1つでも基準以上となった場合、財政再生計画を作成し議会の議決を経て、総務大臣に報告。
経営健全化基準	公営企業の自主的な改善努力による経営健全化を図るため、公営企業会計ごとに算定した資金不足比率が基準以上となった場合、経営健全化計画を作成し議会の議決を経て、総務大臣に報告。

【参考】平成24年度決算における岡山市の会計区分のイメージ

区 分	岡 山 市 の 会 計	健全化判断比率等の対象範囲			
一 般 会 計 等	一 般 会 計	実 質 赤 字 比 率	連 結 実 質 赤 字 比 率	実 質 公 債 費 比 率	将 来 負 担 比 率
	岡山市用品調達費特別会計				
	岡山市住宅新築資金等貸付事業費特別会計				
	岡山市災害遺児教育年金事業費特別会計				
	岡山市公共用地取得事業費特別会計				
	岡山市学童校外事故共済事業費特別会計				
	岡山市母子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計				
	岡山市公債費特別会計				
公 営 事 業 会 計	岡山市国民健康保険費特別会計			(準元利償還金等の対象会計)	
	岡山市介護保険費特別会計				
	岡山市後期高齢者医療費特別会計				
公 営 企 業 会 計	法 非 適 岡山市駅元町地区市街地再開発事業費特別会計	(資 金 不 足 比 率 (会計ごとに算定))			
	岡山市病院事業会計				
	岡山市水道事業会計				
	法 適 岡山市工業用水道事業会計				
	岡山市市場事業会計				
	岡山市下水道事業会計				
一部事務組合・広域連合 (岡山県広域水道企業団、衛生施設組合 ほか)					
地方公社・第三セクター 等 (岡山市土地開発公社 ほか)					

3 岡山市の平成24年度普通会計決算の概要

(1) 決算収支の状況

- ・平成24年度決算では、評価替えによる固定資産税の減などにより、歳入総額が21億41百万円減少し、歳入総額は2,622億93百万円、歳出総額は2,559億30百万円で、歳入歳出差引額（形式収支額）は63億63百万円となり、前年度比で24億77百万円（28.0%）の減となりました。
- ・また、翌年度への繰越財源を除いた実質収支額は、48億72百万円の黒字となりましたが、前年度比では21億円（30.1%）の減となりました。

（単位：百万円、%）

区 分	平成24年度	平成23年度	増減額	伸び率
歳入総額	262,293	264,434	2,141	0.8
歳出総額	255,930	255,594	+336	0.1
歳入歳出差引額	6,363	8,840	2,477	28.0
翌年度への繰越財源	1,491	1,868	377	20.2
実質収支額	4,872	6,972	2,100	30.1

(2) 歳入決算の特徴

○歳入総額は2,622億93百万円で前年度比21億41百万円（0.8%）の減

地方税の決算額について

- ・地方税は1,080億88百万円となり、前年度比で10億64百万円（1.0%）の減となりました。これは年少扶養控除廃止などにより市民税は増加（15億14百万円）したものの、評価替えにより固定資産税が減（22億53百万円）したことによるものです。

その他の歳入決算額について

【地方交付税】

- ・地方交付税は305億24百万円となり、前年度比で14億59百万円（4.6%）の減となりました。これは臨時財政対策債の算定方法の変更に伴い普通交付税から臨時財政対策債への振替額が増加したことなどによるものです。

【県支出金】

- ・県支出金は119億56百万円となり、前年度比で11億74百万円（10.9%）の増となりました。これは介護基盤緊急整備等臨時特例事業費補助金などが増加したことなどによるものです。

介護基盤緊急整備等臨時特例事業費補助金

H23：3億45百万円 H24：11億94百万円（+8億49百万円）

【繰越金】

- ・繰越金は47億40百万円となり、前年度比で8億35百万円（15.0%）の減となりました。これは前年度からの純繰越金が減少したことなどによるものです。

純繰越金

H23：39億82百万円　　H24：28億72百万円（11億10百万円）

【地方債】

- ・地方債は310億62百万円となり、前年度比で1億25百万円（0.4%）の増となりました。これは事業終了により、中高一貫校教育施設整備費充当が皆減したものの、普通交付税の振替である臨時財政対策債が増加したことなどによるものです。

中高一貫校教育施設整備費充当

H23：17億76百万円　　H24：0億円（皆減）

臨時財政対策債

H23：175億円　　H24：190億円（+15億円）

（3）歳出決算の特徴

○歳出総額は2,559億30百万円で前年度比3億36百万円（0.1%）の増

【人件費】

- ・人件費は438億68百万円となり、前年度比で6億63百万円（1.5%）の減となりました。これは共済組合負担金率の変更により地方公務員共済組合等負担金が減少したこと、また、対象者数の減少により退職手当などが減少したことなどによるものです。

【扶助費】

- ・扶助費は668億2百万円となり、前年度比で7億35百万円（1.1%）の増となりました。これは子ども手当が減少したものの、生活保護費や障害者自立支援関係経費などが増加したことによるものです。

【公債費】

- ・公債費は371億13百万円となり、前年度比1億46百万円（0.4%）の減となりました。これは市債（通常分）の借入抑制によるものです。

【繰出金】

- ・繰出金は215億89百万円となり、前年度比で9億19百万円（4.4%）の増となりました。これは公共用地先行取得事業繰出金、介護保険事業及び後期高齢者医療事業などへの繰出金が増加したことによるものです。

4 岡山市の平成24年度決算額（普通会計）

(1) 歳入決算の概要

（単位：百万円、％）

区 分	決 算 額		増減額	伸び率	構 成 比	
	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度
地 方 税	108,088	109,152	1,064	1.0	41.2	41.3
譲与税・交付金	17,255	18,154	899	5.0	6.6	6.8
地方交付税	30,524	31,983	1,459	4.6	11.6	12.1
使用料・手数料	6,996	7,011	15	0.2	2.7	2.7
国庫支出金	42,169	42,711	542	1.3	16.1	16.1
県支出金	11,956	10,782	1,174	10.9	4.6	4.1
繰入金	723	739	16	2.2	0.3	0.3
繰越金	4,740	5,575	835	15.0	1.8	2.1
諸収入	3,905	3,759	146	3.9	1.5	1.4
地方債	31,062	30,937	125	0.4	11.8	11.7
その他	4,875	3,631	1,244	34.3	1.8	1.4
歳入合計	262,293	264,434	2,141	0.8	100.0	100.0

()は対前年度比増減額・率を示す

歳 入 の 主 な 増 減	
地 方 税	固定資産税428億19百万円(22億53百万円) 市民税480億81百万円(+15億14百万円) 都市計画税73億25百万円(3億51百万円)
譲与税・交付金	地方特例交付金4億30百万円(6億67百万円) 軽油取引税交付金49億65百万円(2億53百万円)
地 方 交 付 税	普通交付税283億89百万円(13億44百万円) 特別交付税21億35百万円(1億15百万円)
使用料・手数料	使用料43億91百万円(15百万円)
国 庫 支 出 金	子ども手当負担金18億43百万円(88億81百万円) 社会資本整備総合交付金19億1百万円(11億1百万円) 児童手当負担金72億12百万円(+72億11百万円) 地域自主戦略交付金の皆増(+16億71百万円) 生活保護費負担金166億41百万円(+5億17百万円)
県 支 出 金	児童手当負担金15億54百万円(+15億53百万円) 介護基盤緊急整備等臨時特例事業費補助金11億94百万円(+8億49百万円) 安心こども基金特別対策事業費補助金3億92百万円(+3億18百万円) 子ども手当負担金3億21百万円(12億52百万円) 社会福祉施設等耐震化等整備事業費補助金10百万円(5億39百万円)
繰 入 金	グリーンニューディール基金繰入金の皆減(2億63百万円) 一般廃棄物処理施設整備基金繰入金2億62百万円(+2億52百万円)
繰 越 金	純繰越金28億72百万円(11億10百万円) 繰越事業費等充当分18億68百万円(+2億75百万円)
諸 収 入	日本サッカー協会助成金の皆増(+90百万円) 財団法人岡山市建設公社清算剰余金の皆増(+75百万円) 東部リサイクルプラザ損害賠償金の皆増(+75百万円) 宝くじ収入14億78百万円(1億10百万円)
地 方 債	臨時財政対策債190億円(+15億円) 庁舎建設事業費充当8億18百万円(+7億83百万円) 街路事業費充当18億34百万円(+7億79百万円) 国直轄事業負担金充当19億79百万円(+6億77百万円) 中高一貫校教育施設整備費充当の皆減(17億76百万円) 消防施設整備費充当7億66百万円(16億20百万円) 養護老人ホーム整備事業助成費充当の皆減(2億50百万円)
そ の 他	分担金及び負担金：32億45百万円(+2.6%) 派遣職員負担金(東日本大震災関連)51百万円(+41百万円) 私立保育所措置費負担金25億4百万円(+36百万円) 財産収入：15億90百万円(+257.8%) 土地開発基金用地売払収入の皆増(+9億31百万円)

(2) 歳出決算の概要

(単位：百万円、%)

区 分	決 算 額		増減額	伸び率	構 成 比	
	平成24年度	平成23年度			平成24年度	平成23年度
義務的経費	147,783	147,857	74	0.1	57.7	57.8
人 件 費	43,868	44,531	663	1.5	17.1	17.4
扶 助 費	66,802	66,067	735	1.1	26.1	25.8
公 債 費	37,113	37,259	146	0.4	14.5	14.6
投資的経費	31,119	30,968	151	0.5	12.2	12.1
普通建設事業費	30,686	30,795	109	0.4	12.0	12.0
補 助	13,060	11,486	1,574	13.7	5.1	4.5
単 独	17,626	19,309	1,683	8.7	6.9	7.5
災害復旧事業費	433	173	260	150.3	0.2	0.1
そ の 他	77,028	76,769	259	0.3	30.1	30.1
物 件 費	26,079	26,352	273	1.0	10.2	10.3
維 持 補 修 費	3,607	3,595	12	0.3	1.4	1.4
補 助 費 等	19,536	19,821	285	1.4	7.6	7.8
繰 出 金	21,589	20,670	919	4.4	8.4	8.1
積 立 金	3,966	3,742	224	6.0	1.6	1.5
投資・出資・貸付金	2,251	2,589	338	13.1	0.9	1.0
歳 出 合 計	255,930	255,594	336	0.1	100.0	100.0

()は対前年度比増減額・率を示す

歳 出 の 主 な 増 減	
人 件 費	地方公務員共済組合等負担金66億44百万円(2億90百万円) 退職手当37億14百万円(2億61百万円) 退職者数 H23 192人 H24 177人(15人) 職員給295億54百万円(1億88百万円) 職員数 H23 4,723人 H24 4,696人(27人)
扶 助 費	生活保護費220億28百万円(+8億45百万円) 介護給付費54億64百万円(+7億44百万円) 訓練等給付費24億46百万円(+5億28百万円) 子ども手当23億35百万円(120億81百万円) 児童手当103億23百万円(+103億22百万円)
公 債 費	元金償還金326億55百万円(+1億32百万円) 利子償還金44億55百万円(2億75百万円)
普 通 建 設 費	補助 老人ホーム整備費補助金11億68百万円(+10億22百万円) 公共街路事業24億36百万円(+8億41百万円) 国直轄事業負担金19億82百万円(+6億64百万円) 社会福祉施設等耐震化等整備事業費補助金10百万円(5億58百万円)
	単独 中高一貫校建設事業2百万円(18億33百万円) 消防救急無線デジタル化整備事業3億24百万円(13億29百万円) 新消防緊急通信指令施設整備事業の皆減(9億52百万円) 市民サービス拠点整備事業9億27百万円(+8億79百万円) 政田サッカー場整備事業7億99百万円(+7億23百万円) 公共街路事業9億56百万円(+5億32百万円) 単独公園緑地整備事業5億2百万円(+3億71百万円) 学校園扇風機設置事業の皆増(+3億36百万円) 東消防署整備事業の皆増(+2億53百万円)
災 害 復 旧 事 業 費	農林水産施設3億18百万円(+2億38百万円) 公共土木施設89百万円(1百万円)
物 件 費	緊急雇用創出事業の皆減(3億35百万円) 地域人材育成事業の皆減(3億31百万円) 震災等緊急雇用対応事業の皆増(+1億62百万円) 外国人登録制度改正対応システム改修2億86百万円(+1億20百万円) 選挙費1億91百万円(+1億11百万円)
維 持 補 修 費	し尿処理施設68百万円(+29百万円) 保育所修繕74百万円(+13百万円) じんかい焼却施設1億79百万円(27百万円)
補 助 費 等	神崎衛生施設組合負担金1億58百万円(1億84百万円) 合併特例区交付金の皆減(1億36百万円) 岡山県市町村総合事務組合負担金(東日本大震災分)の皆減(1億9百万円)
繰 出 金	公共用地先行取得事業繰出金11億35百万円(+7億86百万円) 介護保険事業繰出金71億64百万円(+2億65百万円) 後期高齢者医療事業繰出金71億14百万円(+2億15百万円) 国民健康保険事業繰出金61億76百万円(3億46百万円)
積 立 金	公共施設等整備基金36億55百万円(+6億54百万円) 一般廃棄物処理施設整備基金81百万円(4億53百万円)
投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	投資・出資金:19億71百万円(13.7%) 病院事業会計出資金3億38百万円(2億34百万円) 下水道事業会計出資金13億12百万円(56百万円) 水道事業会計出資金1億95百万円(22百万円) 貸付金:2億79百万円(8.2%) 勤労者融資資金貸付金1億40百万円(20百万円)

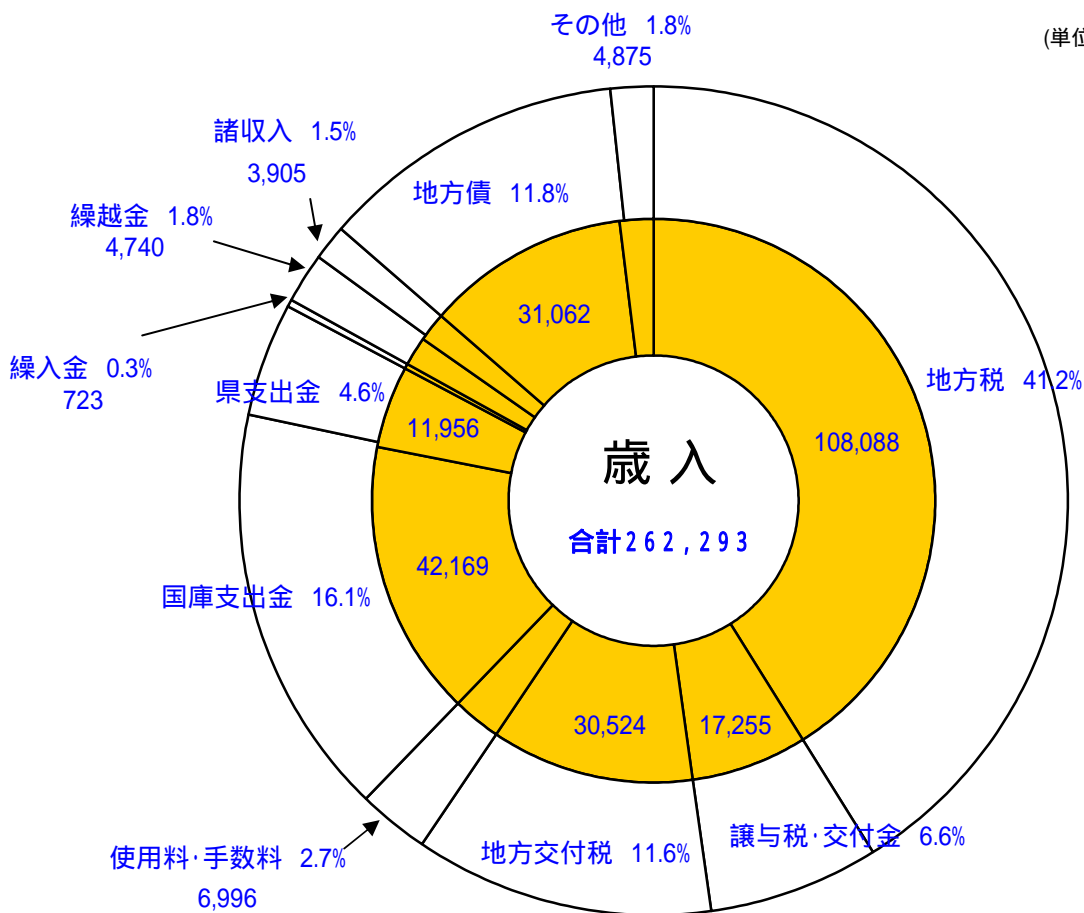
(3) 決算収支の状況

(単位：百万円)

区 分		普 通 会 計		(参 考) 一 般 会 計		
		平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	
入	歳	最終予算額	260,490	261,084	259,194	270,288
		前年度からの繰越額	8,917	9,778	8,712	9,649
		予算額計 (A)	269,407	270,862	267,906	279,937
		決算額 (B)	262,293	264,434	262,123	265,182
		差引(A)-(B) (C)	7,114	6,428	5,783	14,755
出	歳	最終予算額	260,490	261,084	259,194	270,288
		前年度からの繰越額	8,917	9,778	8,712	9,649
		予算額計 (D)	269,407	270,862	267,906	279,937
		決算額 (E)	255,930	255,594	254,802	255,491
		差引(D)-(E) (F)	13,477	15,268	13,104	24,446
歳入歳出差引額 (B)-(E) (G)		6,363	8,840	7,321	9,691	
翌年度繰越財源 (H)		1,491	1,868	1,321	1,664	
実質収支(G)-(H) (I)		4,872	6,972	6,000	8,027	
前年度実質収支 (J)		6,972	9,082	8,027	10,080	
単年度収支 (I)-(J) (K)		2,100	2,110	2,027	2,053	
繰上償還金 (L)		32	0	\		
積立金 (M)		38	13			
積立金取崩し額 (N)		0	0			
実質単年度収支 (K)+(L)+(M) - (N)		2,030	2,097			

岡山市の平成24年度決算額（普通会計）

(単位: 百万円)



(単位: 百万円)

